

中学校 2年

地域の活性化につながるイベントを企画立案しよう

高槻市立第六中学校

教科

総合的な学習の時間

単元名

地域に学ぶ

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・自分たちの住む地域のまちづくりや地域活性化に取り組んでいる人々、働く人の願いを知る。
- ・地域の活性化につながるイベントを企画・立案する。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・図書資料を用いて、日本や世界で実践されている活動と自分たちの活動を比較する。
- ・図書資料から活動内容に関係性のあるものを選び、結びつける。

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP4, C-STEP4
D-STEP4, G-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全13時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (2時間)	○課題の設定、コンセプトマップの作成 ・地域活性化に向けて、地域がどのようなものを求めているか、私たちが身近にできることは何かを考えて課題を見出す。
第2次 (4時間)	○情報収集（☆） ・課題解決のために、世界や日本各地でどのような取り組みがされているか、前例があるかを調べる。（本時） ・地域（六中校区のイベント）が活性化するための企画を立案する。
第3次 (2時間)	○発表 ・グループで企画したアイデアをプレゼンテーションする。 ・仲間のプレゼンテーションを聞いて、評価や改善点などを伝える。
第4次 (4時間)	○整理・分析（☆） ・仲間からの意見をもとに、企画の内容をさらに改良する。企画に基づいて、提案したい物を実際に作って検証する。 ・「六中校区秋フェスタにあったらいいなと思う企画」の掲示物を作成する。 ・六中校区フェスタに参加している人に、アンケートや投票に協力してもらい、地域の方の実際の声を聞く。
第5次 (1時間)	○振り返り ・自分たちが考えていた地域の課題と、地域の参加者の声を照らし合わせて検証する。

本時のねらい

収集した情報から地域の人の願いを知り、相手や目的・意図に応じて論理的に表現する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1.自分たちの考えていた地域の人々の願いと、六中校区秋フェスタの参加者からの実際の意見を照らし合わせて検証する。	グループの着眼点を再確認する。
展開 (35分)	2.高槻市（六中校区）をさらに活性化させるためにはどうするべきかについて考える。 ・図書資料を活用して、ほかの地域で行われている活動内容や実践事例を調べる。 ・次年度の六中校区秋フェスタで提案したい企画、地域活性化のためにどのような企画が必要とされているかについて考察する。 ・自分たちの考えと地域の方の声を参考に比較する。	・SDGs、ユニバーサルデザインなどのまちづくりに関する本や地域の情報誌など、様々な視点から地域活性化につなげることができる資料を準備する。 ・図書資料から課題解決に向けて必要な情報を収集し新たな視点で課題を見つける。
まとめ (10分)	3.各グループ二人ずつ発表する。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・高槻市の広報が発行している情報誌や、図書資料を活用して自分たちの町の課題について考え、地域を活性化させるための企画を立案した。
- ・高槻市（六中校区）をさらに活性化させるため、六中校区秋フェスタで地域の方の実際の声を収集し、自分たちの考えと比較・分析し、図書資料を参考にさらなる企画の改良を行った。

授業で使った本の例

- ・徳田 克己『みんなが過ごしやすい町へ ユニバーサルデザインとバリアフリー 1～3』金の星社
- ・唐木 清志『持続可能なまちづくり 1～4』岩崎書店
- ・井田 仁康『SDGsでかんがえよう 地球のごみ問題 1～3』童心社
- ・梅澤 真一『調べて伝えるわたしたちのまち』あかね書房
- ・饗庭 伸『まちづくりの仕事ガイドブック まちの未来をつくる63の働き方』学芸出版社



地域活性化についての発表の様子